

2020年 市老連 新年賀詞交換会



このネズミは
女性部会の作品です。

令和初となる藤沢市老人クラブ連合会新年賀詞交換会が2020年1月8日に開催されました。

朝からの雨にもかかわらず、市内各地区から150名の会員や来賓の方々が

こぶし荘に集結。東部地区からは、山田市老連副会長他9名が参加しました。

「おめでとうございます。今年も宜しく！」の挨拶で華やいだ雰囲気の中、午前11時丁度に、須藤市老連事務局長の司会で式典が始まりました。



東部地区老連からの参加者

藤沢新



東田副会長の「今年は新年早々キナ臭い話が出ていますが、希望を持って前に進みたい。」との開会の挨拶に続き、田場川会長は「市制80周年、オリンピックもあり忙しい年になる。市老連創立60周年と事務室移転、更には会員増強と友愛活動の活性化等課題も多いが原点に戻って進めたい。」と年頭の挨拶。

公務多忙
の合間を縫

って駆けつけた鈴木市長は「今年は節目の年。昭和15年に人口3万6千人で誕生した藤沢市も市制80周年の今では43万5千人。



オリンピック・パラリンピックまで200日を切って一層の盛り上がりを見せている。地域力、市民力の更なる拡大を期待し、健康寿命日本一に拍車をかけたい。」と新年の抱負を語られました。



来賓の方々の挨拶・紹介、市老連役員
の紹介の後は、山田副会長の音頭による乾杯で懇談会がスタート。



11時40分からは恒例の「新春お楽しみ抽選会」。今年の賞品は、去年の38個を大きく上回る53個。

当選確率が高まったとはいえ、めでたく賞品
をget出来た方と残念ながら、の方々。例によ
って悲喜こもごもの抽選会でした。



get!



最後は石川副会長の
閉会のことばで、賀詞
交換会は無事終了。

その後、藤沢東部、藤沢西部、明治、村岡の各地区の方々にも
ご協力いただき、12時30分に会場撤収を完了。

帰りのバスに乗るときには、天気も回復し薄日が差していました。はじめ良ければ……の年
としたいものですね。
(取材:ゆめクラブ藤沢東部地区・情報通信部会員)